

連絡会 ニュース

第8号

配布用
拡大版

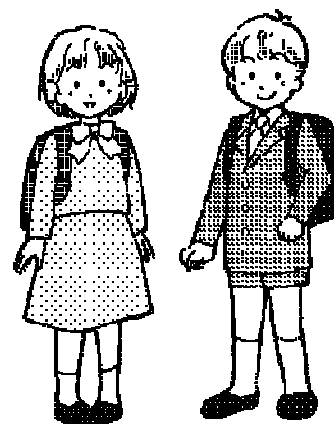
2013年5月 春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会

新入生のみなさん、ようこそ学童保育へ！ 春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会です。

新入生のみなさん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。そして学童保育へようこそ！

「春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会（略称：連絡会）」は、子どもたちの放課後の生活をより楽しく有意義なものにするために活動する事を目的として、2008年2月に発足しました。学童保育に関する情報交換や意見交換、市への要望などを行っていきます。

ここでは、なぜそのような組織が必要とされるのか、春日部の学童保育の実情と併せてご説明します。新入生だけではなく上級生の保護者の方にも、ぜひお読みください、お子さんの学童保育での生活をより充実したものとするために、ご協力をお願いします。



まずは、「学童保育」の現状について、ご理解ください！

父母の運動により改善されてきた学童保育

<全国・埼玉県>

1967年 全国学童保育連絡協議会発足

1998年 法制化(児童福祉法改正)

「親たちが勝手にやっている事業」から
「行政が責任を持って行うべき事業」へ。

2004年 埼玉県「運営基準」(全国初)

2007年 厚労省「ガイドライン」

<春日部市>

1967年 大畑に「共同保育の会」発足
(春日部初の学童保育)
その後各地域にも広がる
(父母が運営)

1998年 市内全小学校に公設学童設置

入室希望が急増
・教室→プレハブ
・プレハブ増設
・開設時間延長
・大規模解消

「作り」運動の時代

「増設」運動の時代

保育の「質」を問う時代

運命の分かれ道！
越谷と春日部の違い

過去の多くの父母の方々の声と運動が、今日の学童保育を作り上げたのです。
未来の春日部の子供達にどのような学童保育を残せるかは、今の私達にかかっています。

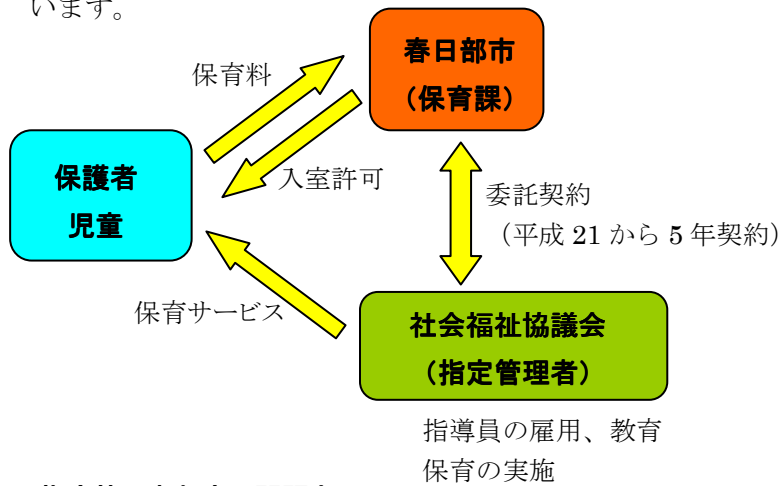
越谷市では全小学校に公設公営の学童保育がありますが、4年生になると自動的に退室させられます。春日部でも公設化当初、高学年を受け入れない方針でしたが、父母会の大反発があり、粘り強い交渉の結果高学年の入室が認められたのです。久喜市や川口市など、高学年が入れない市町村は他にもたくさんあります。春日部においても2年前より八木崎クラブで高学年が入室できない状態が続いており、保育を必要とする家庭にとって深刻な状況が続いています。

学童保育(放課後児童クラブ)は、1998年の児童福祉法改正により初めてその必要性が公的に認められたばかりで、その内容については未だ地域によってまちまちなのが現状です。例えば、保育園は一定の児童数に対する保育士の人数や保育施設の面積が法律で規定されていますが、学童保育には一切の法律的な規制はありません。また、成長期の子どもたちの生活を見守る責任ある専門的な職務にもかかわらず、学童保育の指導員の資格や待遇についても、何の基準もありません。

今、学童保育を利用する私たち保護者は、子どもたちが安心して放課後を過ごせる環境を守るために、共に考え、協力する事によってより良い保育環境を実現していく責務を負っていると思います。連絡会では、今後も行政の動きや学童保育を取り巻く社会情勢など、様々な情報をお知らせしていきます。ぜひ注目していただき、必要に応じてご協力をお願いしたいと思います。

誰が運営しているの？

春日部市の放課後児童クラブは、**指定管理者制度**の下で**市が指定先を選定**し、**社会福祉協議会が運営**しています。



指定管理者制度とは？
自治体が保有、管理している施設の運営を、議会の承認を経て指定された民間団体に委託する制度。指定期間（通常3年から5年）が存在し、期間終了後は再度指定先の選定が行われる。最近では、学童保育のほか、保育園や公民館、公園など多くの施設に導入されている。

指定管理者制度の問題点

- ・指定期間が限られている → 継続的な運営が望まれる施設には不向き。
- ・コストダウン偏重主義 → サービス内容の低下につながる。
- ・民間企業への指定 → 企業倒産のリスク。

見直しの動き

様々な問題が指摘される中、指定先の選定時に一般公募をやめたり、コストダウンを迫りすぎないなど、方法を見直す自治体が増えてきています。

<ハッピースマイル事件（2008年）>

自治体からの指定を受け、東京や埼玉で複数の保育園や学童保育を運営していた企業が倒産。年度途中で子どもの受け入れができなくなり、大混乱に。自治体が前払いした委託費も、債務返済に使われてしまいました。

<指定先変更で保育の質が…所沢で（2009年）>

大規模化によって分割された学童保育…同じ小学校の敷地内に第2学童保育が誕生しましたが、市が民間企業を指定して運営がスタート。しかし経験の乏しい指導員が手探り状態の毎日に！「おやつの内容」「父母との接し方」など、基本的な事を、従来からある第1学童保育の指導員に聞きにくくという状況になりました。選考審査では本当の保育内容は評価できない！？

来年4月からの指定先が、今年決まります。

現在春日部の放課後児童クラブを運営している社会福祉協議会への指定期間が来年3月で終了します。今年度は、次の指定先を決定する手続きが行われます。

埼玉県内でも、指定先が変更になって指導員が全て入れ替わったり、保育のレベルが極端に低下するなどの事例が報告されており、子どもを預ける立場として見過ごせない状況が起こる可能性があります。

連絡会では、5年前の指定先更新の際には「保育の継続性を求める要望書」を市に提出し、結果として社会福祉協議会が事業を引き継ぐ事となり、福祉公社時代の指導員全員の継続雇用と保育内容の維持が確保されました。今回の指定先変更のプロセスも注意深く見守りながら、必要に応じて父母の要望を行政に届けていきます。

連絡会の活動は、父母の皆様のお力で賄われています。

このようなニュースやお知らせの印刷と配布、会議のための会場費や保育費、情報収集や研修への参加費など、連絡会の活動は、父母の皆様から頂戴した会費で賄われています。**連絡会会費は、1世帯あたり年間200円です。**どうか皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

<お知らせ>

放課後児童クラブ父母会連絡会 総会

2010年5月19日(日)10:00~12:00

保育室あります！

会場：春日部市商工振興センター(アクシス)

総会議事：活動報告、会計報告、活動計画、予算

指導員歴34年！

特別講演：全国学童保育連絡協議会 前会長 山本博美先生

「学童保育 ～みんなで育ち合う場所～」

どなたでも参加できますので、ぜひお誘い合せの上ご参加ください。単に「子供を預かる場所」では無い、学童保育がどうあるべきか、一緒に考える機会にしましょう。